

科目名	建築構造力学Ⅲ	英語科目名	Structural Mechanics Ⅲ	
開講年度・学期	平成26年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科4年	
授業形態	講義+演習	必修 or 選択	必修*	
単位数	2単位	単位種類	学修単位 15+30h	
担当教員	横内 基	居室(もしくは所属)	建築学科棟3階	
電話	0285-20-2837	E-mail	yokouchi@yama-ct.ac.jp	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE基準	
	①静定ラーメン・トラスの部材応力と節点変位を評価できる。	③	C	d(2-a)
	②撓角法の公式の誘導ができ、不静定ラーメンを解くことができる。	④	CO	d(2-a)
	③応力法で簡単な不静定ラーメン・トラスを解くことができる。	④	C	d(2-a)
④固定モーメント法で簡単な不静定ラーメンを解くことができる。	④	C	d(2-a)	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標①～④：中間試験、定期試験、および必要に応じて出題した課題によって評価する。				
評価方法				
達成目標①～④：中間試験および期末試験による点数(平均)を70%、小テストや課題などを30%で評価する。				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目	自学自習時間		
1. ガイダンス、不静定構造入門1	静定構造物の解法の復習	4		
2. 不静定構造入門2	変形の計算、変形の適合条件の理解	4		
3. 応力法：原理と基本的な考え方	応力法の解法手順の把握	4		
4. 応力法：不静定ラーメンの解法(1)	不静定ラーメン構造の演習	4		
5. 応力法：不静定ラーメンの解法(2)	不静定ラーメン構造の演習	4		
6. 応力法：不静定トラスの解法(1)	不静定トラス構造の演習	4		
7. 応力法：不静定トラスの解法(2)	不静定トラス構造の演習	4		
8. 達成度確認試験	応力法の復習	4		
9. 撓角法：原理と基本的な考え方	撓角法の解法手順の把握	4		
10. 撓角法：節点が移動しないラーメン1	節点が移動しないラーメンの演習	4		
11. 撓角法：節点が移動しないラーメン2	節点が移動しないラーメンの演習	4		
12. 撓角法：節点が移動するラーメン1	節点が移動するラーメンの演習	4		
13. 撓角法：節点が移動するラーメン2	節点が移動するラーメンの演習	4		
14. 固定法：原理と基本的な考え方	固定法の解法手順の把握	4		
15. 固定法：節点が移動しないラーメン	固定法の演習	4		
達成度確認試験2(期末試験)				
自学自習時間合計			60	
キーワード	不静定構造、静定構造、力の釣合条件、変形の適合条件、力と変形の関係			
教科書	寺本隆幸著：建築構造力学Ⅱ[不静定構造物・振動応答解析編]、森北出版株式会社			
参考書	例えば、和泉正哲著「建築構造力学1・2」培風館 構造力学研究会著「建築構造力学 上・下」理工図書 など			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築構造力学Ⅰ・Ⅱ			
現学年の関連科目	鋼構造、鉄筋コンクリート構造、建築実験			
次年度以降の関連科目	建築応用力学、木構造、構造設計、建築耐震構造			
連絡事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・構造力学に関する参考書が沢山出版されている。自分のレベルに合った参考書を見つけることが望ましい。 ・適宜、課題を出すので自力で行ってこよう。解らないことを自分で解決する努力をすること。 				
シラバス作成年月日	平成26年2月28日			